

社会・文化・教育



キーワード：地域自治、意思決定の場への女性の参画、地域リーダーのリクルートメントルート

女性農林漁業者の社会参画指向とネットワークコミュニティ形成のあり方に関する社会学的研究

現代社会学部 現代社会学科 教授
藤井 和佐 FUJII Wasa

研究の内容

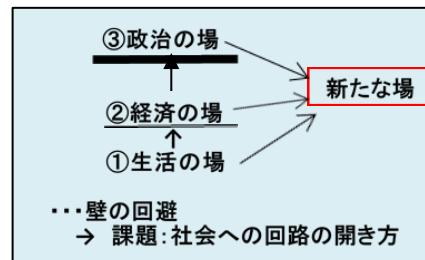
女性活躍が推進されつつあるなか、性別役割分業およびその意識が根強い農業地域においても、農業委員や農業協同組合役員に占める女性割合が増加しつつあります。しかし、数的な成果がパートナリスティックな推進によるものであるとしたら、質的な意味でのジェンダー平等を達成したことにはなりません。このことは、クオータ制の陥落になるととも考えられます。農業委員等に就任している女性たちは、自身の問題意識にもとづき、主体的かつ自律的に意思決定の場に参画できているのでしょうか。そうではないとしたら、どうすればそれが可能となるのでしょうか。

そこで本研究では、これまで就農女性の政治的・社会的機能を担ってきたと考えられる組織・団体と、近年、登録者数を伸ばしている「農業女子プロジェクト」を基盤とする次世代の就農女性たちのネットワークに注目し、共同研究者とともにインタビュー調査、質問紙調査、メディア分析を駆使し、その活動のあり方・過程、メンバーの参画指向、キャリア形成等から上記の問い合わせについて明らかにすることを目的としています。

そして最終的に、地域社会および農林水産業の持続可能性につながるよう調査研究を進めています。



農業委員等の研修会



既存の社会参画の場を回避して新たな場を創出しているが…

産学連携・社会連携へのアピールポイント

これまで市町村の男女共同参画セミナーや文化講座、県議会内の研究会、農政局の職員研修会、農業会議主催の農業委員等研修会などにおいて研究成果にもとづく講演活動を行なってきました。

また県から委託された共同研究事業もあります。中山間地域における対象集落の全住民への半構造化調査を実施し、当該地域の歴史・文化・社会構造、住民の生業・ライフスタイルなどをふまえて分析しました。

リサーチマップ (藤井 和佐)

URL : <https://researchmap.jp/read0194950>

